

<b>国際機関名 (英語略称)</b>	対日理解促進交流プログラムの要請書を取付け済みの国際機関等 (ASEAN事務局, SAARC事務局等9機関)		
<b>英文名称</b>	Japan Friendship Ties Programs		
<b>種 別</b>	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関		
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 外務省大臣官房対日理解促進交流室			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
活動目的等: 対日理解促進交流プログラムは、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、対外発信の強化し、外交基盤を拡充するために外務省が推進している事業。同事業の経費は、対象国・地域を管轄する国際機関等からの要請に基づき、我が国のみが拠出している。対象国・地域において、経済、社会、文化的な発展の推進や、政治・経済の安定の確保等の域内問題に関する協力、関係者のネットワーク作りを目的とし、青少年を含む交流プログラムや専門家が参加する会議・研修等を実施し、日本と対象国・地域の国民間の発展、相互理解の促進を推進している。			
<b>【当該国際機関の財政(2016年予算)】(千円)</b> <span style="float: right;">出典: 各機関からの報告</span>			
	総収入	総支出	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金	3,326,880		3,326,880
会計年度: 各機関による			
会計検査機関名: 各国際機関等により異なる。(構成員の出身国: 各国際機関等により異なる。)			
<b>【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等(2016年のもの)】</b> <span style="float: right;">(注) 拠出国は日本のみ</span>			
	国 名	金額(千円)	拠出率(%)
1位	日本	3,326,880	100%
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 ( 年のもの)】</b> <span style="float: right;">出典:</span>			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【我が国による拠出の形態】</b>			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: 親日派・知日派育成のための交流拡充拠出金、外務省			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員(2016年のもの)】</b>			
邦人職員数	54人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	4,147人 1%
うち幹部以上	うち13人		
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
日韓文化交流基金理事長	小野正昭	元メキシコ大使	
日韓文化交流基金事務局長	春木育美		
日中友好会館会長	江田五月		
日中友好会館副会長	宮本雄二	元中国大使	
日中友好会館理事長	荒井克之		
日中友好会館理事	青樹明子		
日中友好会館理事	片寄浩紀		
日中友好会館理事	布施知子		
日中友好会館理事	吉田隆司		
日中友好会館事務局長	小島義夫		
日中友好会館総合交流部長	荻原芽		
モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団 東京事務所ディレクター	倉本照代		
日露青年交流委員会	渡邊修介	元アゼルバイジャン大使	
<b>【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)</b>			
なし			
<b>【備考】</b>			